

津麦ニュース 令和3年産 第2報

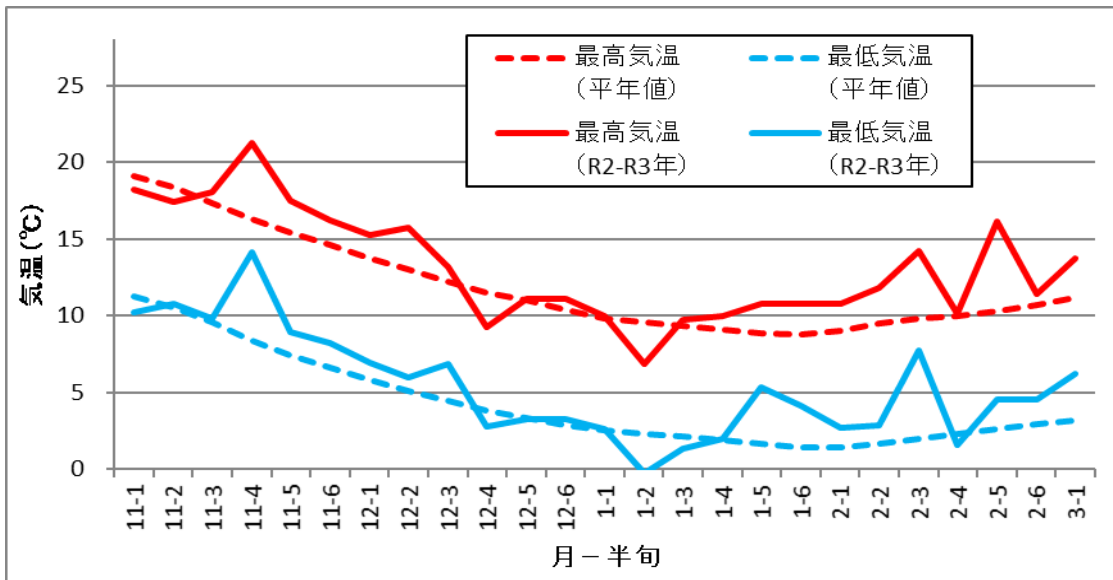
令和3年3月10日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

**麦の生育は、やや早くなっています。
各ほ場の生育状況をよく観察し、適切な管理を行いましょう**

<気象経過>

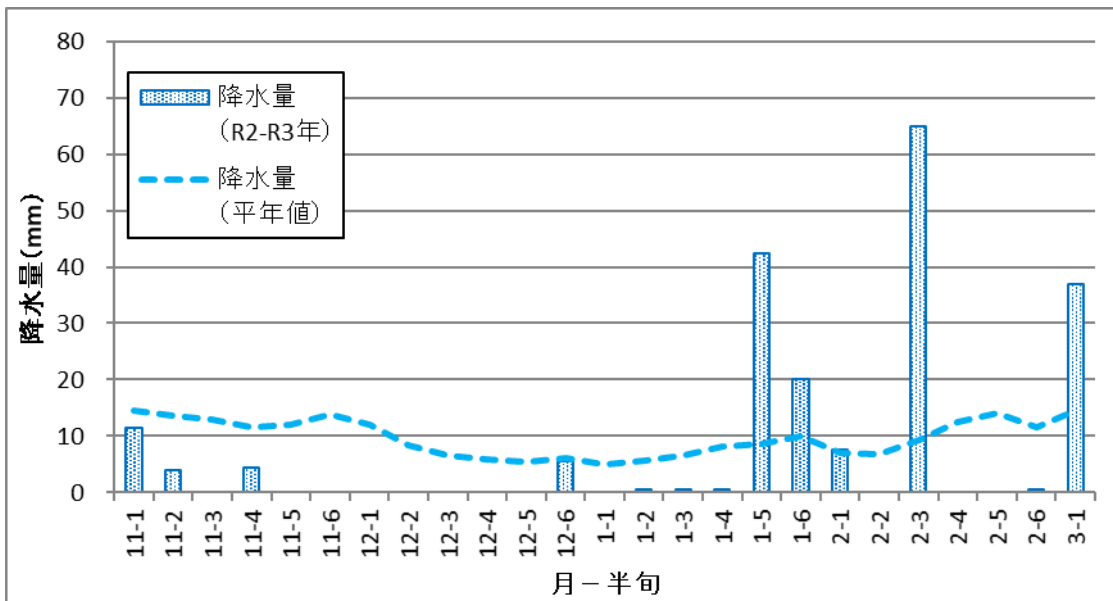
○気温

12月半ば～1月半ばまでは気温が低く経過しましたが、それ以外の期間は平年より高めに気温が経過しています。(11月第1半旬から3月第1半旬までの平均気温は平年比+1.2℃)。



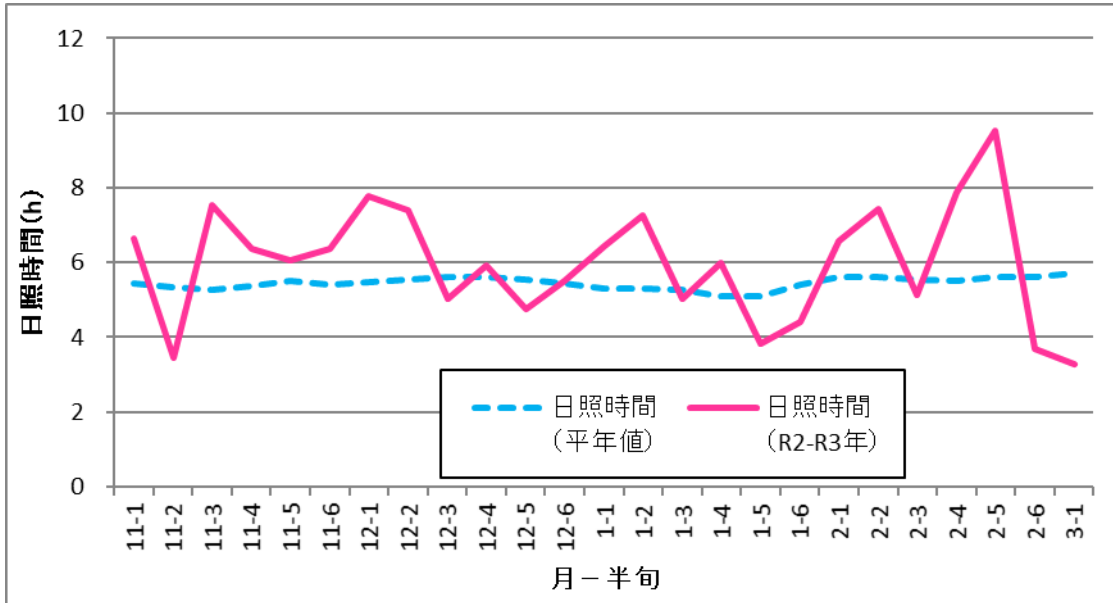
○降水量

1月第4半旬までは、非常に降水量が少なかったですが、1月第5半旬、2月第3半旬、3月第1半旬にまとまった雨が降りました。



○日照時間

日照時間はやや多く推移しており、11月第1半旬から3月第1半旬までの日照時間は平年比110%となっています。



<麦の状況>

○生育状況

11月半ば頃までの比較的早い時期に播種されたほ場では、12月第3半旬まで気温が高く推移したことから、初期に生育が進みました。12月半ば～1月半ばまでは気温が低く経過し、生育は一時的に停滞しました。しかし、その後は再び平年並み～やや高めに気温が経過しており、生育は平年より早くなっています。

11月下旬以降に播種されたほ場では、乾燥により出芽に時間がかかり、その後の気温低下もあって初期の生育はやや遅れましたが、1月下旬以降の気温が高めに経過していることなどから、平年並み～やや早い生育の進み具合となっています。

生育基準田の調査結果を昨年同時期と比較すると、葉齢は1葉程度少なく、葉色は濃くなっています。昨年が暖冬で非常に生育の進みが早かったため、昨年との比較では、やや遅い状況です。

○令和3年産(令和2年播)小麦生育基準田の状況

【令和3年2月19日現在】

令和3年産小麦						令和3.2.19時点	
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数	
芸濃	11月21日	14.2	413.2	47.0	5.0	90	
殿村	11月13日	14.2	612.0	46.3	6.5	98	
白山	11月14日	23.9	818.0	49.5	6.6	97	

(参考)

令和2年産小麦						令和2.2.20時点	
調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数	
芸濃	11月13日	21.8	607.5	41.9	6.9	99	
殿村	11月13日	27.6	724.7	41.7	7.3	99	
白山	11月13日	28.4	710.0	45.6	7.5	99	

○小麦の生育予測

令和2年3月9日現在

品種	播種日	止葉抽出始期の予測日	出穂期の予測日	開花期の予測日
あやひかり	11月5日	3月15日	4月1日	4月16日
	11月15日	3月19日	4月5日	4月18日
	11月25日	3月28日	4月13日	4月21日

※メッシュ農業気象・麦生育予測システムVer.2.0による予測です。
津市平野部の気象データを使用しました。

<今後の対策>

○追肥

生育状況に応じて追肥を行い、収量を確保しましょう。

・体系施肥の場合

11月上中旬播種のところでは、間もなく止葉抽出期です。止葉抽出期に窒素成分で2～3kg/10aを目安に追肥を施用しましょう。11月下旬播種のところでは3月末までに止葉抽出期になると予想されます。この頃を目安に追肥を行いましょう。

止葉抽出期の生育量の目安

草丈:44～47cm 茎数:570～600本/m² 葉色:40 (SPAD)

草丈が50cm以上で茎数が700本/m²以上と非常に多く、葉色が濃い場合は倒伏の危険があるので追肥を控えましょう。

・肥効調節型肥料を使っている場合

本年度は葉色が濃い目に経過しており、追肥が必要なところは少ないと思われますが、葉色が薄く (SPADで40未満) になり、肥料切れの兆候が見られる場合は止葉抽出期に窒素成分で2kg程度/10aを目安に追肥しましょう。

○赤かび病防除

今後の気象状況により、出穂期・開花期が前後しますが、上記の生育予測を参考に防除計画を立ててください。出穂期が早くなってもその後の気温が低いと開花までの期間が長くなります。必ず開花を確認してから防除を行いましょう。防除適期は開花始期から1週間です。適期を逃さないように防除しましょう。

○排水口、ほ場の明きょ(周囲溝、排水溝)等の点検

3月に入ってから降雨日が多くなっています。降雨後の排水状況を確認し、滞水しているようであれば溝を掘りなおすなど、排水溝の点検、補修を行いましょう。